

プレスリリース

報道関係各位

2010年1月20日

株式会社アニプレックス

株式会社 A-1 Pictures



劇場オリジナルアニメーション作品

「宇宙ショーへようこそ」

ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門ノミネート決定!!

株式会社アニプレックス（本社：東京都千代田区、代表取締役 夏目公一朗、以下 ANX）と株式会社 A-1 Pictures（読み：エイ・ワンピクチャーズ 本社：東京都杉並区、代表取締役社長 勝股英夫、以下 A1P）の共同企画・制作による劇場オリジナルアニメーション作品「宇宙ショーへようこそ」が2010年2月11日からドイツで開催される第60回ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門へのノミネートが決定しました。

「宇宙ショーへようこそ」は、ANX ならびに同社 100% 出資のアニメーション制作スタジオである A1P が舛成孝二（監督）、倉田英之（脚本）、石浜真史（キャラクターデザイン・作画監督）の3名を迎え、約3年半の制作期間を費やしたSFファンタジーアドベンチャー作品です。日本国内での公開は2010年内を予定しており、同映画祭での出品・上映は世界初公開となります。

なお本作は、「鉄コン筋クリート」の第57回同映画祭ジェネレーション部門 14plus カテゴリーへの出品に続き、ANX として2作目となります。



(c)A-1 Pictures

【ベルリン国際映画祭 について】

同映画祭は1951年に創立され、カンヌ、ベネチアと並び世界3大映画祭の一つに数えられます。（2010年は2月11日～21日開催）

ジェネレーション部門は其中で児童・青少年向けのカテゴリーになり、4歳以上を対象11人の子供の審査員によって最優秀賞が選ばれる「Generation Kplus」と、14歳以上を対象7人の子供の審査員によって最優秀賞が選ばれる「Generation 14plus」の2つに分かれております。「宇宙ショーへようこそ」は「Kplus」での出品になります。

【「宇宙ショーへようこそ」概要】

「かみちゅ！」で文化庁メディア芸術祭優秀賞を受賞した舛成孝二監督と A1P が約3年半の歳月をかけて送り出す劇場オリジナルアニメーション。

舛成監督初の劇場作品となる本作のため、脚本の倉田英之、キャラクターデザインの石浜真史、音楽の池 頼広らをはじめ、現在のアニメーション界をリードする気鋭のスタッフが集結！

制作は『おおきく振りかぶって』『黒執事』など話題作を多数発表し、注目を集め、舛成孝二監督と共に本作が初劇場制作となる A1P が担当する。アニメファンだけでなく幅広い年齢層に向けての作品。

【スタッフ】

監督：舛成孝二（主な作品：「R. O. D-READ OR DIE-」監督、「かみちゅ！」監督）

脚本：倉田英之（主な作品：「R. O. D-READ OR DIE-」原作・脚本、「かみちゅ！」脚本、「かななぎ」シリーズ構成）

キャラクターデザイン・作画監督：石浜真史（「時をかける少女」作画監督、

「R. O. D-READ OR DIE-」キャラクターデザイン・作画監督）

音楽：池 頼広（「相棒シリーズ」「僕の初恋をキミ捧ぐ」「FREEDOM」「BLOOD THE LAST VAMPIRE」）

制作：A-1 Pictures（「おおきく振りかぶって」「PERSONA-trinity soul-」「かななぎ」「黒執事」）

製作・配給：アニプレックス

公開：2010年予定

【ストーリー】

都会の喧騒から離れ、美しい自然に囲まれた小さな村、村川村。

夏休みのある日、恒例の子どもだけの夏合宿のため、夏紀たち五人は小学校へと集まった。

そして彼らは行方不明になったうさぎ、ぴょん吉を探しに、裏山へと足を踏み入れる。

だがそれは宇宙を揺るがす大冒険への第一歩だったのだ……。

『宇宙ショーへようこそ』公式サイト <http://www.uchushow.net/>

以上